

令和4年度 事業報告(公益)

I 事業の総括

令和4年度、本会は、1 生涯スポーツ社会の実現、2 競技力の向上、3 次代の健全育成という三つの基本方針の下、加盟団体及び関係機関、団体と連携協力し、公益4事業、収益2事業及び本会運営事業を積極的に推進する計画としていた。事業展開においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業において規模を縮小するなどの影響も受けたが、オンライン会議の導入をはじめ、新しい生活様式に基づく事業展開をすることができた。

公益1：生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業を通じてスポーツの魅力を発信するとともに、一般社団法人彩の国SCネットワークと連携し、総合型地域スポーツクラブの活動内容や経営安定の充実に努めた。

また、令和4年度から運用開始した「総合型地域スポーツクラブ登録、認証制度」を実施し、SC全国ネットワーク（総合型地域スポーツクラブ全国協議会）に28クラブが登録認定された。

公益2：競技力向上事業では、「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」を1年延長し、「天皇杯、皇后杯ともに第3位以上」を達成するため、「第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体」では、オール埼玉体制をより強固なものとし、目標の実現に向け、諸事業に取り組んだ。

公益3：スポーツ少年団事業では、前年度まで中止や規模縮小などが相次いだが、一部事業を除いて予定どおり実施した。スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会では、全36コース1,200名を超える指導者の養成を行った。また、令和4年6月には、埼玉県スポーツ少年団が創立60周年を迎え、記念表彰や記念誌の発行に加え、コンセプトムービー作成を行った。多くのスポーツ少年団関係者と共有し、スポーツの価値を再確認した。

公益4：スポーツ総合センター運営事業では、新型コロナウイルス感染症予防対策により激減していた利用者もコロナ前（平成30年度）の約70%まで回復してきたが、光熱水料、特に電気代の高騰により厳しい経営状況が続いている。

収益1：大宮公園スポーツランドの運営では、With コロナの新しい生活様式が定着して行く中で、屋外施設の開放感と感染対策の緩和により多くの利用者が訪れここ数年間で一番の収益を上げることができた。

収益2：埼玉アイスアリーナの管理運営では、新型コロナウイルス感染症予防対策により激減していた利用者もコロナ前（平成30年度）の約86%まで回復してきたが、一般営業で一部入場制限を設けた運営を実施し、新しい生活様式の安全安心宣言に基づく運営に努めた。

Ⅱ 事業報告

公益 1 生涯スポーツ振興事業

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

埼玉県と連携、協力して、地域住民による自主的、主体的な総合型地域スポーツクラブの組織化を図るため次の業務を実施した。

(1) クラブアドバイザーの配置(1名)

総合型地域スポーツクラブの設立や活動及び事務、経理処理等クラブ運営全般について指導、助言ができる者を配置した。(日本スポーツ協会の有資格者等)

(2) 広域スポーツセンター機能推進業務

主に総合型地域スポーツクラブに興味を持ち、立ち上げようとしている人やスポーツクラブ等からの電話及び来所相談に対し専門的な助言を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の要請に応じて会議等に参加し、専門的な助言を行うなどの業務を実施した。

ア 総合型地域スポーツクラブ等運営活動支援

(ア) 設立済市町村に対する訪問等による専門的助言

【事業内容】 設立済の市町村のスポーツ関係担当者等に対し、説明会や会議で、総合型地域スポーツクラブの意義や必要性等を説明した。併せて説明会の出席者等からクラブ設立に必要な情報を収集した。

【実施回数】 延べ12回(6市)

【実施会場】 上尾市、川越市、毛呂山町、久喜市、新座市、熊谷市が定めた場所及びクラブが指定した会場

【参加者】 延べ15名(行政関係者及びクラブづくりに意欲のある者)

【経費】 受取参加料：無料 派遣等に係る費用：無料

(イ) 総合型地域スポーツクラブに対する訪問等による専門的助言

【事業内容】 クラブアドバイザーの指導、助言を経て設立した総合型地域スポーツクラブの活動状況や運営状況など現地ヒアリングを行い、一層の活性化を図るため指導、助言を行った。

【実施回数】 延べ17回

【実施会場】 各クラブのクラブハウスや公共施設等

【参加者】 延べ30名(クラブの運営に関わる者)

【経費】 受取参加料：無料 派遣等に係る費用：無料

(ウ) 総合型地域スポーツクラブを目指す団体に対する訪問等による専門的助言

【事業内容】 クラブアドバイザーがクラブ運営の指導、助言を行い、令和4年度は新たに3クラブが設立された。

・特定非営利活動法人 YTK Sports (朝霞市)

- ・サンワ×エナジークラブ（上尾市）
- ・特定非営利活動法人ココカラ（新座市）

【実施回数】延べ12回(8クラブ)

【実施会場】各クラブのクラブハウスや公共施設等

【参加者】延べ16名(クラブの運営に関わる者)

【経費】受取参加料：無料 派遣等に係る費用：無料

(エ) 一般社団法人彩の国SCネットワークの活動支援

県内の総合型地域スポーツクラブ相互の連携及び親睦、情報交換を図ることで、地域スポーツの活性化及び生涯スポーツの振興に貢献することを目的に設置された一般社団法人彩の国SCネットワークに対し、運営における指導、助言を行った。

・総会の開催

【実施期日】令和4年6月18日(土)

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加者】22クラブ28名

【経費】受取参加料：無料

・ステップアップ研修会

総合型地域スポーツクラブの運営を円滑に進めるため、クラブマネージャー及び事務局スタッフ等の資質向上を図ることで、持続可能な運営体制を構築する機会を提供できた。

【実施時期】令和5年2月6日(月)

【実施会場】オンライン開催

【参加者数】14名

【経費】開催経費：講師謝金

受取参加料：(一社)彩の国SCネットワーク会員 無料

イ 総合型地域スポーツクラブ連絡会議の実施

【事業内容】総合型地域スポーツクラブの自立と安定した運営のために質的充実を目的とした連絡会議を開催し、クラブへの情報提供及び課題解決に向けた具体的な取り組み事例等について情報共有を行い、クラブ間ネットワークの促進と連携体制の構築を図った。

【実施時期】令和5年2月19日(日)

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加者数】35クラブ44名

【経費】受取参加料：無料

(3) 広報活動

ア 総合型地域スポーツクラブに関わる情報提供

【事業内容】総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報を基に、各クラブの他、行政担当者やマスメディアなど随時情報提供を行った。

イ ホームページの掲載、更新

【事業内容】 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報やクラブ作りのノウハウを本会ホームページに掲載、更新を行った。

2 市町村体育・スポーツ協会連絡会議の開催

【事業内容】 地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育協会、スポーツ協会との意見、情報交換を行うとともに、関係機関、関係者との連携を強化した。

【実施期日】 東部：令和4年6月28日(火) 14:00～
西部：令和4年6月27日(月) 14:00～
南部：令和4年6月30日(木) 14:00～
北部：令和4年6月24日(金) 14:00～

【実施会場・参加者】

東部：蓮田市総合文化会館ハストピア	38名	(12市3町)
西部：滑川町コミュニティセンター	46名	(11市9町)
南部：桶川市民ホール	35名	(13市1町)
北部：秩父市歴史文化伝承館	27名	(4市7町)

【経 費】 会場使用料、参加者飲み物代

3 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会の開催

【事業内容】 県内各地域において、スポーツ教室等で指導をする人材を養成した。

(1) コーチ2：専門科目1 競技

水泳（独自事業）

【実施期間】 令和4年6月5日(日)～7月17日(土) (5日間)

【参加者数】 16名

(2) コーチ2：共通科目1 コース

【実施期間】 令和4年11月19日(土)～11月20日(土) (2日間)

【参加者数】 18名

(3) コーチ1：専門科目3 競技

ア バレーボール(委託事業)

【実施期間】 令和4年12月10日(土)～18日(日) (3日間)

【参加者数】 42名

イ バドミントン(委託事業)

【実施期間】 令和4年10月22日(土)～23日(日) (2日間)

【参加者数】 16名

ウ 空手道(委託事業)

【実施期間】 令和4年11月8日(土)～26日(土) (5日間)

【参加者数】 41名

【受講対象】 原則として、指導員18歳以上。※競技毎で別に定める。

【経 費】 支払参加料(個人負担：全競技共通)

コーチ 1 共通科目：NHK 学園(通信講座)へ直接払い
専門科目：日本スポーツ協会へ取り纏めて支払

4 県民総合スポーツ大会及び埼玉県駅伝競走大会の開催

【事業内容】埼玉県スポーツ振興計画が掲げるスポーツへの県民の多様な関わり方、「する」、「みる」、「きわめる」、「まなぶ」、「ささえる」ことを実践、体感する機会づくりを全県的に取り組むために、埼玉県、埼玉県教育委員会及び関係団体とともに実行委員会を設置し、企画、運営に参画し資金の提供を行った。

(1) 令和 4 年度第 35 回県民総合スポーツ大会の開催

【埼玉県実行委員会】

埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会、各市町村、各市町村教育委員会、各市町村体育、スポーツ協会、各市町村レクリエーション協会、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

【実施時期】通年(参加する団体の大会全てが県民総合体育大会の一部)

【参加人数】

ア 競技部門 275 大会 181,359 名

本会加盟競技団体、県高等学校体育連盟大会、県中学校体育連盟大会、県高等学校野球連盟大会、県スポーツ少年団大会、特別支援学校大会、ふれあいピック大会、障害者スポーツ大会関係団体

イ コミュニティー部門 63 大会 16,071 名

ウ レクリエーション団体種目 25 大会 7,360 名

エ 県小体連地区スポーツ大会 198 大会 100,790 名

オ スポーツフェスティバル 3 回 25,822 人参加

(うちインターネット参加 21,000 人)

総計 564 大会 大会参加者総数 331,402 名

【経 費】 支払助成金：実行委員会経費の負担(150,000 円)

(2) 埼玉県駅伝競走大会

【埼玉県駅伝競走大会実行委員会】

埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、一般財団法人埼玉陸上競技協会、埼玉県学校体育協会、読売新聞東京本社さいたま支局、さいたま市、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、北本市教育委員会、鴻巣市、鴻巣市教育委員会、行田市教育委員会、熊谷市、熊谷市教育委員会

ア 第 5・6 部(中学生：兼全国中学校駅伝大会予選)

【実施期日】令和 4 年 11 月 5 日(土)

【実施会場】熊谷スポーツ文化公園陸上競技場及び特設周回コース

【参加者】5 部 中学校男子 62 チーム(6 区 18.26km)

6部 中学校女子 63チーム(6区 12.26km)

イ 第1～4部

【実施期日】令和5年2月5日(日)

【実施会場】熊谷スポーツ文化公園他特設コース(スタート：さいたま新都心)

【参加者】1部 一般男子 23チーム(新都心-熊谷 6区 40.695km)

2部 市町村男子 23チーム(新都心-熊谷 6区 40.695km)

3部 高校男 31チーム(新都心-熊谷 6区 40.695km)

4部 高校、一般女子

25チーム(鴻巣-熊谷 5区 19km)

計102チーム

【経費】支払助成金

実行委員会経費の負担(ア、イで2,000,000円)

5 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

- (1) 「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)、「県民の日」(11月14日)、公益財団法人埼玉県スポーツ協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放した。
- (2) トレーニング相談を実施した。

6 スポーツ活動の支援事業の充実

(1) 国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動の実施

【事業内容】公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会参加者傷害補償制度の加入促進と安全意識の向上を図った。

(2) 秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援

主催：秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会実行委員会(構成メンバー：一般社団法人埼玉県自転車競技連盟、埼玉県、埼玉県教育委員会)

【事業内容】昭和28年に秩父宮家から「秩父宮杯」を下賜され、令和4年度で70回目を迎える自転車道路競走大会で、本県ゆかりの地である秩父市で開催され、国内トップレベルの選手がエントリーする一般男子の部から中学生の部まで9の種別があり、361名の選手が参加した。

埼玉県は自転車保有率第1位を誇っており、県内の自転車利用の拡大を図っていくなかで、本大会は県民に身近で国内トップレベルの競技を観戦する絶好の機会であり、自転車利用の促進にも大きな影響を与えている大会である。

【実施期日】令和4年9月4日(日)

【実施会場】秩父市特設周回コース

【参加者数】

部 門	距 離	エントリー数	実走数
エリート	75.3km	121名	76名
高校生上級	42.9km	56名	23名
高校生初級	21.6km	51名	29名
一般上級	42.9km	55名	32名
一般中級	42.9km	55名	47名
一般初級	21.6km	63名	43名
マスターズ	21.6km	96名	72名
女子	10.8km	23名	19名
中学生	10.8km	22名	20名
9部門		542名	361名

【経 費】 支払負担金：なし

(3) スポーツ活動助成事業

【事業内容】 本会加盟団体等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図った。

ア サイニチホールディングス杯第7回彩の国 Spring フィギュアスケート競技会

【実施期日】 令和4年5月3日(火)～5日(木)

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

【参加者数】 無級からシニア(6級以上) 計260名

※YouTube 動画配信あり

【経 費】 支払助成金 4,000,000円(一般寄付充当)

イ サイニチホールディングス杯埼玉県室内選手権水泳競技会

【実施期日】 令和5年2月23日(木)、26日(日)

【実施会場】 セントポールズ、アクアティックセンター

【参加者数】 小学2年生から一般(社会人) 計995名

※YouTube 動画配信あり

【経 費】 支払助成金 2,000,000円(一般寄付充当)

ウ スポーツ活動(環境整備)支援事業

【事業内容】 スポーツ活動に必要な競技用器具機材等の調達や活動する場所の確保などスポーツ環境の整備を行うことに助成する。

エ アイスホッケージュニア(中学生)育成事業(アイスホッケー連盟への助成事業)

【実施期間】 毎月第4金曜日 21時から22時30分

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

オ 女子アイスホッケー普及、育成事業

【実施期日】 毎月水曜夜2回、土日朝2回 計4回

【対 象】 県内在住、在学の女子又は県アイスホッケー連盟普及事業参加者で埼玉選抜等で活動した者。

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

(4) 彩の国スポーツ推進パートナー登録制度の運営

【事業内容】各専門家が自身の得意分野を活かした業務支援活動ができる制度を整え、本会関係スポーツ団体等の人材育成と人材活用を促す環境を整備した。

7 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

【事業内容】県民のスポーツ活動の窓口となる市町村体育、スポーツ協会及び県を単位とする競技団体に対して、その活動が円滑に行われるように各団体の運営費を補助した。

(1) 本会加盟団体運営補助事業

【補助金額】市町村体育協会、スポーツ協会
40,000円+1月1日推計人口×1.5円(千円以下切り捨て)

(2) 本会加盟競技団体運営補助事業

【補助金額】競技団体：一律150,000円

(3) 学校体育団体等補助事業

【事業内容】本会の他に県を単位とするスポーツ関連の統括団体の県費補助金を取り纏めて手続きをすることにより、円滑な要求活動と事務の効率化を図った。

【取扱団体】埼玉県学校体育協会、埼玉県高等学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟、埼玉県女子体育連盟、埼玉県小学校体育連盟、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会の7団体

8 顕彰事業

(1) 埼玉県スポーツ賞

【事業内容】埼玉県の体育、スポーツの振興、発展に貢献し、その功顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、埼玉県スポーツ賞を贈りその榮譽を称えた。

【表彰の種類】

功 勞 賞：長年にわたり体育、スポーツの指導に精通し、著しい功績をあげ、他の者の模範である者で、地域の体育、スポーツの普及、発展に寄与した者。

優秀選手賞：一般及び中学生、高校生(またはチーム)が、オリンピック大会、国際大会及び全国大会等で優勝した者(またはチーム)と3位まで入賞した者(またはチーム)

栄 光 賞：国際競技会、国内競技会において、特に傑出した競技成績を収めたチーム、団体(栄光旗)と個人(栄光楯)

会長特別賞：世界大会等で日本を代表し、特に顕著な活躍をした本県所属及び本県ゆかりで本会加盟競技団体が認めた者又は選考委員会が認めた者。

奨励賞：埼玉県内の小学校に在籍する児童で、公益財団法人日本スポーツ協会加盟の中央競技団体が主催する全国的競技大会に出場し優勝した者並びに国際連盟が主催する国際大会で8位までに入賞した者。

感謝状：本会のスポーツ振興事業に顕著な支援及び協力をした個人又は団体。

【実施時期】令和5年3月12日(日)

【実施会場】THE MARK GRAND HOTEL

【受賞者】受賞者総数：32団体(406名) 個人289名 合計695名
感謝状：10名14団体

ア 功労者表彰

競技団体、学校体育団体等 33名
市町村体育、スポーツ協会 40名 功労賞総数 73名

イ 優秀選手賞

国際大会	優勝		個人	22名
	準優勝	1団体(3名)	個人	11名
	三位、入賞		個人	23名
全国大会	優勝	11団体(117名)	個人	85名
	準優勝	8団体(51名)	個人	20名
	三位	9団体(172名)	個人	29名
日本新記録			個人	1名
奨励賞			個人	25名

ウ 栄光賞

栄光旗 川口市立上青木中学校男子ソフトテニス部
栄光楯 水野 柚希(栄東高等学校：水泳、競泳)
竹井 枝里菜(武南高等学校：水泳、AS)
奥野 春菜(自衛隊体育学校：レスリング)
徳原 姫花(自衛隊体育学校：レスリング)
新添 左季(自衛隊体育学校：柔道)
百合草 碧皇(早稲田大学：スポーツクライミング)
本間 大晴(スポーツクライミング)
阿部 倖地(慶應義塾大学：空手道)
赤石 竜我(日本体育大学：車いすバスケットボール)
小倉 涼(大東文化大学：空手)

エ 会長特別賞

村岡 桃佳(北京2022パラリンピック冬季競技大会アルペンスキー女子(座位)滑降、スーパー大回転、大回転優勝、スーパー複合2位)

埼玉パナソニックワイルドナイツ

(NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022 DIVISION 1 優勝)

阿炎 政虎(大相撲 令和4年11月場所 幕内最高優勝)
瀬戸 大也(第16回世界短水路選手権男子 400m個人メドレー
優勝、6連覇)

Honda 陸上競技部(第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会 優
勝、2連覇)

貴景勝光信(大相撲 令和5年1月場所 幕内最高優勝)

オ 奨励賞

冨澤 香珠 さいたま市立指扇小学校

山中 彩花 さいたま市立大宮西小学校

鈴木 里歩 さいたま市立指扇小学校

奥貫 陽 さいたま市立桜木小学校

(以上、第44回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春
季水泳競技大会女子 10歳以下 4×50mフリーリレー優勝)

塚田 亮真 さいたま市立大久保東小学校

菊村 遥 さいたま市立中島小学校

江川 遥馬 さいたま市立中島小学校

井上 侑政 さいたま市立仲町小学校

(以上、第44回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季
水泳競技大会男子 10歳以下 4×50mメドレーリレー優勝)

田熊 紗也 さいたま市立日進小学校

(第44回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳
競技大会女子 11~12歳 50m自由形優勝)

佐々木凱成 久喜市立栗橋小学校

知久 柊真 久喜市立砂原小学校

吉田 湊登 久喜市立栗橋南小学校

坂爪 心温 久喜市立栗橋小学校

(以上、第45回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季
水泳競技大会男子 10歳以下 4×50mメドレーリレー優勝)

村山 椋大 上尾市立上平小学校

西上 諒 上尾市立大石小学校

小笠原慶侍 伊奈町立小針北小学校

徳野 楓大 伊奈町立小針北小学校

(以上、第44回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季
水泳競技大会男子 11~12歳 4×50mフリーリレー優勝)

鈴木 大晴 三郷市立新和小学校

(第39回全国少年少女レスリング選手権大会 5年生
+65 kg 級優勝)

工藤 蒼大 三郷市立新和小学校

(第39回全国少年少女レスリング選手権大会 3年生
46 kg級優勝)

田中いおり 戸田市立美谷本小学校
(フォーデイズ杯全日本女子オープンレスリング選手権大会
キッズの部、58kg 級優勝)

櫻林 駿凜 鴻巣市立鴻巣東小学校
(第 39 回全国少年少女レスリング選手権大会小学 5 年
、55 kg 級優勝)

東 海里 三郷市立戸ヶ崎小学校
(第 27 回全国少年少女選抜レスリング選手権大会
女子小学生 5 年の部、36 kg 級優勝)

内藤 遥希 星野学園小学校
稲川 達士 さいたま市立三橋小学校
(第 31 回全国小学生バドミントン選手権大会 5 年生以下
男子ダブルス優勝)

中川 結雅 開智学園総合部
(第 12 回全日本小学生ボウリング競技大会 6 年生
男子の部優勝)

【費用】賞状、額、栄光旗、栄光楯、会長特別賞トロフィー制作代等

(2) 体育優良児童・生徒表彰

【事業内容】県内の小・中・高校の卒業又は修了予定の児童、生徒で、よく体育、スポーツを理解、愛好し、平素、熱心にこれらを実践している者のうち、特に健康状態、運動能力、スポーツマンシップに秀いで学業成績良好にして体育的見地より全校の模範となる者を表彰した。

【実施会場】各学校の施設。

【実施時期】表彰式は、原則、卒業式で行う。

【被表彰者数】	男子	女子	合計(学校数)
市町村・国・私・特別支援 小学校(級)	695 名	627 名	1,322 名(686 校)
市町村・県・国・私・特別支援 中学校(級)	432 名	428 名	860 名(441 校)
国・県・市・私立高校・特別支援学校	231 名	171 名	402 名(214 校)
合 計	1,279 名	1,216 名	2,584 名(1,341 校)

【経 費】賞状

(3) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣)

※本会関係者、団体

ア 生涯スポーツ功労者

伊藤 博義 氏【川越市スポーツ協会】

古賀 敏子 氏【富士見市スポーツ協会】

石森 昌治 氏【一般社団法人埼玉県水泳連盟】

棚澤 絹江 氏【埼玉県スポーツ少年団本部員等】※JSP0 推薦

宮澤 達三 氏【埼玉県スポーツ少年団服本部長等】※JSP0 推薦

イ 生涯スポーツ優良団体

・スポーツクラブ

特定非営利活動法人武蔵丘スポーツクラブ
特定非営利活動法人 SCORE 総合型地域スポーツクラブ
SPROJECT F. C.

- ・スポーツクラブ以外
該当なし

9 広報・普及活動事業

スポーツ活動の普及、振興のため作成した本会キャッチフレーズ「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」の活用や「スポーツ埼玉」の発刊、ホームページでの情報発信、懸垂幕の活用などを行った。

(1) 「スポーツ埼玉」誌の発刊

【事業内容】本会広報誌「スポーツ埼玉」を発刊し、本県が取り組んでいるスポーツ施策、本会が行った講演、シンポジウムなどを掲載する他、国民体育大会埼玉県選手団の活躍及び成績、県内の指導者の推薦図書、本県の体育、スポーツの発展に尽力した偉人の紹介など、多岐にわたるスポーツ情報を発信した。

【発刊及び作成部数】年4回（No.295、296、297、298）各11,000部

【主な配布場所】県歯科医師会会員（県内歯科医院）、県理容組合加盟店、県内ゴルフ練習場、県健康スポーツ医会会員、県内金融機関（埼玉りそな、武蔵野、埼玉縣信用金庫、JAバンク、埼玉）県内各店舗、県内小中高校及び大学、県内公共スポーツ施設、本会にご支援頂いている企業、総合型地域スポーツクラブ、県内公共図書館、埼玉県人会会員等

【費用】購入代金等：無料 印刷製本費、通信運搬費

(2) IT 及びホームページの活用と充実

ホームページを活用し、ブログ式による各種情報の提供をはじめ、スポーツ大会やスポーツ活動を撮影した写真提供などの充実を図った。

【費用】サーバー管理料（及び一部更新料）

(3) キャッチフレーズの活用

ア 各種諸事業での横断幕の活用

- ・スポーツ総合センターロビーに掲示
- ・埼玉県駅伝競走大会（陸上競技場）に掲示

イ 封筒への刷り込み

ウ スポーツ少年団種目別大会等での明記（掲示）

- ・全ての実施要項等に明記

(4) 懸垂幕の活用

【主な掲示物】

- ・スポーツ総合センターの掲示
- ・キャッチフレーズ（まず参加たのしくスポーツみんなが主役）の掲示
- ・埼玉アイスアリーナに関する掲示

- ・スポーツ安全協会に関する掲示
- 【費用】懸垂幕作成代

10 埼玉県立武道館の指定管理

(1) 武道の普及、振興

株式会社サイオーとの共同事業体により、県民サービスの向上と日本古来のスポーツである武道の普及、振興を図った。

(2) 県立武道館の主催事業への協力、支援

利用率の向上と、スポーツへの親しみや地域との連携を醸成するため、自主事業の活動を支援した。

ア スポーツフェア 2022

【実施時期】令和4年5月15日(日)

【実施会場】埼玉県立武道館(全館)及びスポーツ総合センターアリーナ他

【参加者】3,711名(武道館教室生及び地域住民)

【経費】設営等に要した費用の一部負担及び職員の派遣

イ 新春初稽古会

【実施時期】令和5年1月4日(水)

【実施会場】埼玉県立武道館(全館)

【参加者】4武道団体 407名(武道館教室生)

ウ トップアスリート青少年空手道組手講習会

【実施期日】令和4年10月23日(日)

【実施会場】埼玉県立武道館

【参加者】200名

11 スポーツ活動における安全管理

(1) 体育・スポーツ協会主催行事に係る賠償責任保険制度の活用

年々、スポーツ傷害やスポーツ事故が増えている中、主催者に対する事故等への賠償責任を問われる判例が示されてきている。

県民のスポーツ活動と市町村体育、スポーツ協会の運営をも安心して取り組める環境を整えるため、本会及び本会加盟市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体に加入した。

なお、競技団体が主催する大会は、本会又は市町村体育・スポーツ協会と共催することで対象となる。令和4年度は該当する事故はなかった。

【保険の概要】

- 1 契約者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会
- 2 被保険者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会及び各郡市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体
- 3 保険期間：1年間(令和4年4月1日午後4時～令和5年4月1日午後4時まで)
- 4 補償内容：対人対物共通てん補限度額：1事故5億円

免責金額：50万円

5 保険金支払の想定例

- ・落雷が予想される中、競技を継続したため、発生した落雷により参加者が死傷した。
- ・イベントの観客を観客席に誘導するミスにより、観客が将棋倒しになり、観客にけが人が発生した。
- ・イベント中に事故が発生し、主催者側の過失によりイベントの中断、救助活動が遅れたため、参加者が死傷した。
- ・大会会場の施設に明らかな破損が認められていたにもかかわらず、イベントを強行実施したため参加者が死傷した。

(2) スポーツ傷害保険の活用

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などの関係者にスポーツ安全協会(傷害保険)の活用を呼びかけ、安心したスポーツ活動の推進を図った。

【主な取組】総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に説明等を行い、スポーツ少年団では、専門委員会での検討を重ね、指導者現地研修会や種目別代表者会議など指導者が多く集まる会議等でスポーツ傷害保険の活用を呼びかけた。

(3) リスクマネジメントに係る研修会の促進

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などの関係者にリスクマネジメントに係る研修会を行い、安心したスポーツ活動の推進を図った。

【主な取組】総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に指導、助言を行い、スポーツ少年団では、認定員養成講習会、認定員研修会等でのカリキュラムとして行い、スポーツ活動に携わる関係者に対し、リスクマネジメントの大切さを呼びかけた。

12 指定寄付、賛助会員制度の推進

【事業内容】本会、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ創設支援クラブ等への寄付により、スポーツ団体の活性化を図った。また、安定した経営と充実した事業の展開を図るため、本趣旨にご賛同くださる方々(賛助会員)を募った。

(1) 一般寄付：用途の定めのない寄付 法人3団体

埼玉県信用金庫協会、埼玉縣信用金庫、株式会社武蔵野銀行

(2) 特定寄付：用途に定めのある寄付 法人2団体

株式会社サイニチホールディングス(フィギュアスケート競技会、屋内水泳競技会)、他1団体

(3) 賛助会員制度の推進 法人41団体(団体名は令和5年3月31日現在)

大蔵屋商事株式会社、(公財)熊谷市スポーツ協会、北本市スポーツ協会、株式会社埼玉スポーツ、滑川町スポーツ協会、(公財)草加市スポー

ツ協会、(公財)埼玉県剣道連盟、(株)アールはっとり鍼灸接骨院、
(一財)埼玉陸上競技協会、川島町スポーツ協会、岩堀建設工業株式会社、
ときがわ町スポーツ協会、埼玉県空手道連盟、(公財)川口市スポーツ協
会、小鹿野町スポーツ協会、東松山市スポーツ協会、小川町スポーツ協
会、埼玉県野球連盟、(株)高脇基礎工事、埼玉県弓道連盟、(公財)さいたま市スポーツ協会、埼玉県スケート連盟、埼玉県柔道連盟、(公財)新座市スポーツ協会、株式会社埼玉新聞社、深谷市スポーツ協会、嵐山町スポーツ協会、学校法人後藤学園 武蔵丘短期大学、埼玉県信用金庫協会、株式会社丸幸、埼玉県グラウンド・ゴルフ協会、三郷市スポーツ協会、白岡市体育協会、戸田市体育協会、(学)稲穂学園いなほ幼稚園、株式会社サイオー、越谷市体育協会、株式会社サイニチホールディングス、株式会社ナックプランニング、吉見町スポーツ協会、ゆりのき鍼灸整骨院、他 1 団体

井上良江、村山和弘、藤本泰宏、河本 弘、保科征男、檜浦岳人、牛山
廣司、大保木輝雄、田中 稔、小川 貴、足立 達、今中隆雄、和泉
洋、山下 征、野澤誠一、棚沢絹江、小原敏彦、永井一博、中田善雄、
野口英夫、田村和夫、藤沼貞夫、谷古宇勘司、上羅 廣、山下誠二、北
清治、並木克広、尾崎 豊、小林伸子、内田秀男、油井正幸、川田一
成、林 一夫、森田進一、柿原順子、小畔 東、永嶋龍次、松原 誠、
新井 彰、増田 優、中田次夫、上島孝之、小山吉男、本橋民夫、青葉
昌幸、松本 敏、田中靖男、山下 實、前之園晴廣、青葉元由紀、羽鳥
利明、南谷陽治、久保正美、宮内孝知、吉川洋一、高橋順一、大野勝
生、浅見 茂、野中常七郎、数野裕之、宮下達也、堀部武男、忍田壽
生、竹之下司、山口正貴、他 3 名

13 スポーツ教室の開催

【事業内容】本会管理運営施設を活用し、スポーツの普及と強化、県民の健康増進を図る。

(1) ライフル射撃体験教室

【実施期間】令和 4 年 7 月～9 月、令和 5 年 1 月～3 月
計 2 コース(1 コース 5 回程度)

【実施会場】スポーツ総合センター

【受取参加料】5,500 円(1 名/コース)

(2) 健康づくり教室

事務局運営体制の変更に伴い中止

(3) 団体利用者スケート教室

応募なし

(4) 体験教室(校外教室)

【実施期日】令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月

【実施会場】埼玉アイスアリーナ

【参加者数】 3校 8教室延べ 885名

【受取参加料】 無料 ※滑走料は受益者負担

(5) アイスホッケー体験教室（本会協働事業）

【実施期日】 令和4年10月23日(日)、29日(土)、30(日)、
11月6日(日)、27日(日)、
12月4日(日)、11日(日)、18日(日) 計8回

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

【参加者数】 延べ 44名

【受取参加料】 無料

公益2 競技力向上事業

1 国民体育大会

(1) 埼玉県予選会の実施

【事業内容】国民体育大会に参加する競技団体に対して公正で公開された選考会の運営を指導、監督した。

(2) 関東ブロック大会選手団の編成及び派遣

【事業内容】各競技の予選会を経て選ばれた選手で選手団を編成し、第77回国民体育大会、特別国民体育大会冬季大会関東ブロック大会に派遣した。

【競技会場】東京都

【実施期日】令和4年12月(各競技により日程が異なる)

【派遣人数】1競技 監督、選手50名

(3) 第77回国民体育大会<陸上競技含む37競技>

【競技会場】栃木県宇都宮市他

【実施期日】令和4年9月10日(土)～19日(月)

(水泳、バレーボール、ビーチバレーボール、体操、弓道)
令和4年10月1日(土)～10月11日(火)

【参加人数】役員、監督、選手651名

【成績】天皇杯 第3位 1932.5点

◎競技別天皇杯獲得団体 4競技団体
皇后杯 第4位 1,006.0点

(4) 特別国民体育大会

ア スケート、アイスホッケー競技会

【競技会場】青森県八戸市、南部町

【実施期日】令和5年1月28日(水)～2月5日(日)

【参加人数】役員、監督、選手81名

イ スキー競技会

【競技会場】岩手県八幡平市

【実施期日】令和5年2月17日(金)～20日(月)

【参加人数】役員、監督、選手43名

(5) 第77回国民体育大会表彰式

【実施期日】令和4年11月18日(金)

【実施会場】埼玉会館

【参加者数】第77回国民体育大会入賞者及び関係団体、関係者約30名

【成績】競技別天皇杯獲得団体(4競技団体)

入賞者数：団体 4団体 個人 3名

団体	第1位	4団体	第2位	3団体	第3位	2団体
	第4位	2団体	第5位	2団体	第6位	1団体
	第7位	0団体	第8位	2団体		

個人	第1位	51名	第2位	86名	第3位	71名
	第4位	67名	第5位	129名	第6位	19名
	第7位	26名	第8位	18名		

(6) 国民体育大会功労賞特別表彰(公益財団法人日本スポーツ協会)

令和4年度 本県該当者無

2 第1期強化訓練事業【助成(補助)事業】

【助成内容】国民体育大会での活躍を期するため、次の強化事業について助成(補助)した。

【助成対象経費】合宿や強化訓練に係る指導者謝金、交通費、宿泊費、消耗品費、借損料、通信運搬費、雑費の費用を予算の範囲内で補助。

【助成団体】37競技(陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン) 約1,500名

【助成金額】38,877,702円

【対象期間】競技団体毎に4月から3月の祝祭日を中心に実施。

【の開催場所】当センターのスポーツ施設他、公共施設、学校体育施設等

3 第2期強化訓練事業【助成(補助)事業】

【助成内容】本大会で達成できなかった課題を精査し、特別国民体育大会に向けて新たな戦力(選手)の発掘と育成を行うための助成(補助)事業。

【対象団体】指定競技団体

【助成金額】1,510,000円

4 スポーツ環境整備事業

(1) 冬季競技重点施策【助成(補助)事業】

【助成内容】強化訓練会場(施設)の無い冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活動の会場を確保し強化を図った。

【助成対象経費】合宿や強化訓練に係る指導者謝金、交通費、宿泊費、消耗品費、借損料、通信運搬費、雑費の費用を、予算の範囲で補助。

【助成金額】補助金の算出は、エントリー数と実績や活躍度を数値化し、予算の範囲内で配分した。

【助成団体】冬季3競技(スケート、アイスホッケー、スキー) 約120名

【対象期間】競技団体毎に4月から翌年3月の祝祭日を中心に実施。

【開催場所】スケート：埼玉アイスアリーナ、軽井沢スケートリンク、Mウエーブ他

アイスホッケー：埼玉アイスアリーナ
スキー：菅平高原スキー場、八幡平スキー場 他

【助成金額】7,000,000円

(2) 競技用器具機材等の整備

助成実績なし

5 支援スタッフサポート事業

(1) 医学サポートスタッフ派遣事業【助成(補助)事業】

【助成内容】国民体育大会に出場するチームに、スポーツドクターやトレーナーを帯同させる費用を助成し、次のことを行った。

ア スポーツを行う上で課題となってきたドーピングコントロールとスポーツ傷害の防止に努めた。

イ 誤飲によるドーピングの防止や啓発に努めるとともに、スポーツ傷害の処置並びにメンタル的サポートを行った。

【助成対象経費】派遣(帯同)に係る交通費、宿泊費。

【助成対象者】派遣対象候補者で、競技団体から申告のあった者の中から本会会長が決定。

(2) 競技別支援スタッフの派遣

【助成内容】国民体育大会において本県選手団が安心して競技会に臨める環境を整えるため、競技団体から推薦されたコーチやアタッシュなどを埼玉県選手団の支援スタッフに委嘱し、派遣に係る費用を助成した。

【助成対象経費】派遣に係る旅費交通費の一部を補助。

【助成対象者】国民体育大会(冬季、本大会)に出場する競技団体から推薦のあった者。各団体1名(ただし、活躍が見込める団体は2名まで認める。)

ア 会長指名派遣：15競技24名(本大会16名、冬季大会0名)

イ 支援スタッフ派遣者：25競技58名(本大会52名、冬季大会6名、医学サポート含む)

ウ 競技団体負担派遣者：10競技34名(派遣に係る費用は競技団体負担)

6 競技団体指定クラブ強化事業【助成(補助)事業】

【助成内容】国民体育大会をはじめ、全国規模の大会や選手権大会などで優秀な成績を収めた選手を輩出しているクラブ又は今後期待されるクラブの選手強化事業に対して助成した。

【助成対象経費】合宿や強化訓練に係る指導者謝金、交通費、宿泊費、消耗品費、借損料、通信運搬費、雑費の費用を予算の範囲内で補助した。

【対象期間】通年

【開催場所】各クラブが利用している施設。

【助成団体】 27 競技 54 クラブ(陸上 2、水泳 10、テニス 2、ボート 1、
ホッケー4、バレーボール 1、体操競技 3、バスケットボール 2、レス
リング 2、ソフトテニス 1、卓球 2、野球 2、相撲 1、馬術 5、フェン
シング 1、柔道 1、ソフトボール 1、バドミントン 1、山岳、スポーツ
クライミング 4、カヌー2、アーチェリー1、なぎなた 1、スケート 1、
アイスホッケー1、スキー1、トライアスロン 1) 約 700 名

【助成金額】 3,750,000 円

7 ジュニア育成補助事業

(1) 彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業【助成事業】

【事業内容】 県内の将来性の豊かなジュニアアスリートを見出し、その対
象の特性や発達段階に応じた定期的、継続的なトレーニング等を実施
できる体制を構築することにより、長期的な視点で世界に羽ばたくア
スリートの育成拠点の整備を支援した。

【開催期日】 概ね月一回で年 10 回以上。トレーニングは一回あたり 2 時
間を上限とし、一日あたり 5 時間を超えないものとした。

(2) 彩の国アスリートアカデミー事業【助成事業】

【事業内容】 世界に羽ばたくトップアスリートを輩出することを目指し、
各競技団体と連携して県内の高い競技水準を有する者に対して、より
高水準のトレーニング環境における定期的、継続的なトレーニング等
を実施できる体制を構築し、本県アスリートの育成拠点の整備を支援
するため彩の国アスリートアカデミーを開催した。

【対象団体】 国民体育大会実施競技及びオリンピック大会実施競技のうち
本会に加盟する競技団体の中から次の競技団体を選定した。

トライアスロン、ボウリング、ライフル射撃

【実施時期】 概ね月一回で年 10 回以上。

(3) 次世代アスリートの発掘、育成事業

ア 彩の国 Platinumkids 発掘、育成事業

【事業内容】 高い身体能力を有する小学生年代のアスリート候補を発掘、
認定し、県競技団体とともに、それらのアスリートが自己の可能性を
最大限に高められる環境を整えつつ、競技団体が優れた資質を有する
人材の獲得に資する支援を行った。

(ア) 発掘プログラム

【募集対象】 県内小学校 4 年生及び過年度最終選考会に参加した者のうち、
本会が参加を認める者

【募集期間】 令和 4 年 6 月中旬から 9 月 30 日

【選考方法】 第 1 ステージ 新体力テスト結果による書類選考
第 2 ステージ 発掘測定会の実技結果による選考

【発掘測定会】 令和 4 年 11 月 13 日(日) 埼玉県立武道館、スポーツ
総合センター

(イ)対象者への研修の実施(育成プログラム)

【実施期間】4月から3月

【主なプログラム】ALS、プラチナ☆ジム

(ウ)パスウェイプログラム

【実施期間】4月から3月のうち競技団体が定める日時、会場

【主なプログラム】KSC 23回 309名

練習会 4競技 不定期開催

イ 彩の国Platinumjunior 発掘、育成事業

【事業内容】特定の競技に関わる非凡な能力を有する県内中学生年代のアスリートを新たに発掘、認定し、本県のスポーツ資源を活かしたサポートを通じて、それらのアスリートが自己の可能性に挑戦できる環境を整え、世界を目指して活躍するアスリートの輩出を目的として実施した。

(ア)発掘プログラム

【募集対象】県内小学校6年生、中学1年生、中学2年生

【募集期間】令和4年6月中旬から9月30日

【選考方法】第1ステージ 新体力テスト結果による書類選考

第2ステージ 競技団体トライアウトによる選考

【競技別選考】令和4年11月～12月 競技団体が定める日時、会場

(イ)育成プログラム

【実施日】 令和4年5月22日、8月23日、令和5年1月15日

【主なプログラム】障害予防プログラム、スポーツ科学教育プログラム等

(ウ)専門競技別プログラムのモデルプログラムの開発

(パスウェイプログラム)

【実施日】競技団体が指定する日

【対象】各競技の彩の国プラチナ認定者

【主なプログラム】競技専門トレーニング

ウ 彩の国Platinum athlete 強化支援事業

【事業内容】本県の次世代を担うトップアスリート候補者が国内主要大会や国際大会等に万全な状態で挑戦できるよう、スポーツ医・科学サポート等を効果的に活用できる体制を整備し、本県からより多くのトップアスリートが持続的に輩出されることを目的に実施した。

(ア)発掘プログラム

【事業内容】将来、国際大会や国民体育大会で活躍できるトップアスリートを本県から輩出するため、令和4年度対象者の選考に関わる情報を収集し、埼玉県へ提供した。

(イ)競技力向上サポート

【事業内容】

a 彩の国スポーツ推進パートナー制度の構築

各専門家が自身の得意分野を活かしたアスリート支援活動ができる

制度を整え、本県スポーツ人材の育成と人材確保を促すパートナーシップを構築し、本県アスリートが競技力向上に打ち込める環境を整えた。登録者 全 16 名

b パートナーによる彩の国アスリート等への専門的サポートの提供
 パートナーとの連携を図り、該当選手のニーズに基づいたトレーニングプランの作成、メニュー作成支援、提供、研修機会の提供等を実施し、継続的に当該選手の育成、強化活動をサポートした。

c その他のサポート
 競技力向上に有益なサポート手法を開発、検討を行った。

〈専門家によるサポートの例〉

フィジカルトレーニング指導、けが予防指導、栄養指導、メンタル指導、スポーツ科学支援、アスリートライフスタイル支援、その他

【実施期間】 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

8 中・高体連育成強化事業の実施【助成事業】

【助成内容】 中・高校の連携により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会を通して世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。

【助成対象経費】 合宿や強化訓練に係る指導者謝金、交通費、宿泊費、消耗品、借損料、通信運搬費、雑費の費用を予算の範囲内で助成した。

【開催期日】 7 月から 3 月の祝祭日を中心に実施した。

【開催場所】 当センターのスポーツ施設他、公共施設、学校体育施設等

【助成対象団体】 埼玉県高等学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟

【助成金額】 8,000,000 円

【成績】

(1) 令和 4 年度全国高等学校総合体育大会成績(冬季含む)

◎団体	優勝	準優勝	3・4 位	ベスト 8	合計
男子	0 団体	2 団体	4 団体	7 団体	13 団体
女子	0 団体	0 団体	0 団体	4 団体	4 団体
◎個人	優勝	準優勝	3・4 位	ベスト 8	合計
男子	5 名	5 名	10 名	23 名	43 名
女子	3 名	1 名	12 名	14 名	30 名

(2) 令和 4 年度全国中学校体育大会成績(冬季含む)

◎団体	優勝	準優勝	3・4 位	ベスト 8	合計
男子	2 団体	1 団体	2 団体	5 団体	10 団体
女子	2 団体	0 団体	1 団体	5 団体	8 団体
◎個人	優勝	準優勝	3・4 位	ベスト 8	合計
男子	8 名	7 名	4 名	11 名	30 名

女子 3名 7名 9名 10名 29名

9 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱

【事業内容】埼玉県と連携、協力し、当該年度の国体候補選手、監督、指導者の所属する高等学校長及び中学校体育連盟会長を強化特別委員として委嘱し、選手の練習環境を整え、より一層の競技力向上を図った。

【特別委員会】令和4年6月7日(火)

【実施会場】県民健康センター

【委員の委嘱】58名

【費用】会場使用料及び当日の会議参加者旅費交通費

10 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議の開催

(1) 埼玉県強化コーチ研修会

【事業内容】各競技団体における競技力向上に係る担当指導者及び国民体育大会監督候補者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する諸問題について研修を行うとともに、第77回国民体育大会『いちご一会とちぎ国体』での必勝体制の確立を図った。

【実施時期】令和4年7月1日(金)

【実施会場】スポーツ総合センター 講堂及び各研修室

【参加人数】国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者108名

【講演内容】『ドーピング防止研修会』

小関 恭子 氏(みやび薬局)

【経費】受取参加料：無料 講師謝金

(2) 国民体育大会必勝対策会議

【事業内容】第77回国民体育大会関東ブロック大会突破の見通しと本大会での入賞予想及び各競技団体の戦力状況と強化策について確認、分析した。

分科会：
・本大会及び関東ブロック大会に向けた各競技の戦力予想。
・ライバル県の戦力分析と各競技団体における強化策及び情報交換。
・本大会申し込み
・アンチ・ドーピング対策
・監督資格について

【実施時期】令和4年7月1日(金)

【実施会場】スポーツ総合センター 講堂及び各研修室

【参加人数】国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者108名

※埼玉県強化コーチ研修会と同時開催

11 埼玉スポーツの未来を考える会(旧競技団体長・支援企業等協議会)

【事業内容】本県の競技力を支える支援企業、大学等と競技団体関係者が一堂に会し、更なる競技力向上のため相互に連携した協力体制の確立

を図った。

- 【実施時期】 令和 5 年 1 月 13 日(金)
- 【実施会場】 ロイヤルパインズホテル浦和
- 【参加者】 競技団体 28 名 企業 49 名 計 77 名
- 【受取参加料】 一人 8,000 円(懇親会費)

12 埼玉県スポーツ指導者研修会

(1) 第 1 回埼玉県スポーツ指導者研修会(旧ビクトリーサミット)

- 【事業内容】 長年培った選手育成のノウハウとスポーツ科学に基づく競技力向上を図るための研修会を実施した。
- 【実施時期】 令和 4 年 12 月 3 日(土) 13:00~16:30
- 【実施会場】 スポーツ総合センター、上尾運動公園
- 【参加者】 73 名
- 【内 容】 ピリオダイゼーションに基づくトレーニング計画
講 師 中原 啓吾 氏

(2) 第 2 回埼玉県スポーツ指導者研修会

※事務局体制の変更に伴い中止

13 スポーツ団体インテグリティ推進事業(競技別研修会)【助成事業】

- 【対象団体】 加盟競技団体及び埼玉県スポーツ指導者協議会の競技別指導者協議会
- 【助成内容】 埼玉県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者で組織する、埼玉県スポーツ指導者と連携し、協議会登録指導者を対象に、競技特性に応じた日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の義務研修を開催するための費用を助成した。
- 【助成対象経費】 研修会に係る講師謝金、会場借上げ料、通信運搬費
- 【助成金額】 定額 50,000 円
- 【助成団体】 埼玉県スポーツ指導者協議会の指導者協議会 3 団体
本会直営による研修会(加盟競技団体等を対象)

14 選手強化対策委員会要覧等の作成

【事業内容】 競技力向上事業を効率的に推進並びにスポーツ科学を活かした知見の普及を図った。

(1) 選手強化対策委員会要覧

- 【発刊時期】 ペーパーレス化に伴い印刷製本なし
- 【配布先】 選手強化関連資料の電子データ化

(2) スポーツ科学普及促進情報誌の企画、制作

- 【発刊時期】 事業運営体制の変更に伴い未発行
- 【配布先】 本会ホームページ及び J-STAGE に掲載する

(3) コーチのしおり

- 【発刊時期】 3 月
- 【作成部数】 500 部
- 【配布先】 競技団体及び教育関係機関
- 【費用】 印刷製本費

15 スポーツ科学研究事業

【事業内容】 スポーツを医学的、科学的、コーチング、アンチ・ドーピングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図った。

(1) アンチ・ドーピング教育啓発事業

【事業内容】 高等学校総合体育大会及び国民体育大会結団式並びに国民体育大会選手選考会議、各種研修等においてアンチ・ドーピング教育、啓発研修を実施した。

【実施時期】 国民体育大会必勝対策会議：令和 4 年 7 月 1 日(金)

高校総体結団式：令和 4 年 7 月 11 日(月)

国民体育大会選考会議：令和 4 年 9 月 9 日(金)

国民体育大会結団式、壮行会：令和 4 年 9 月 16 日(金)

アンチ・ドーピングホットライン：通年

【実施会場】 国民体育大会必勝対策会議：スポーツ総合センター講堂

高校総体結団式：埼玉会館

国民体育大会選考会議：スポーツ総合センター講堂

国民体育大会結団式：埼玉会館

アンチ・ドーピングホットライン：通年

【参加者】 コーチ研修会：国民体育大会実施 40 競技団体選手強化関係者 108 名

高校総体結団式：インターハイ出場選手、関係者約 800 名

国民体育大会選考会議：競技団体役員、監督約 120 名

国民体育大会結団式：本大会出場選手、監督約 400 名

アンチ・ドーピングホットライン：問い合わせ件数 80 件(延べ 242 品目)

【経費】 講師謝金：1 会場 1 名 6,000 円

(2) スポーツ医・科学相談事業(旧 Platinumkids メディカルチェック、体力測定)

【実施内容】 Platinumkids(修了生、指導者等含む)に対して、相談事業を実施した

【実施時期】 令和 5 年 1 月 14 日、2 月 20 日、3 月 19 日

【実施会場】 スポーツ総合センター

(3) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

- 【実施時期】 本大会 配布：令和4年8月
回収：令和4年9月(候補選手確定まで)
冬季 配布：令和4年11月
回収：令和4年12月(候補選手確定まで)

【実施会場】 国民体育大会埼玉県選手候補の問診票：本会で回収、ドクター及び薬剤師が所見

【参加者】 国民体育大会埼玉県選手候補

(4) 国民体育大会帯同ドクター派遣

【事業内容】 ドーピングコントロールとスポーツ障害の防止を図るため、スポーツドクターを本部役員として選手団に帯同させ、ドーピングの防止に努めた。また、選手、監督の要請を受け、スポーツ傷害の防止並びにメンタル的サポートを行った。

※帯同ドクターは、日本スポーツ協会が定めた選手団編成基準の役員に位置付けられている。

- 【実施時期】 令和4年9月10日(土)～19日(月)(水泳競技他)
令和4年10月1日(土)～10月11日(火)
令和5年1月28日(土)～2月5日(日)(スケート、アイスホッケー競技)
令和5年2月17日(金)～20日(月)(スキー競技)

【実施会場】 第77回国民体育大会：会期前競技、本大会 栃木県
特別国民体育大会：冬大会 青森県、岩手県

【参加者】 第77回国民体育大会：会期前競技3名、本大会4名
特別国民体育大会：冬大会 4名

(5) 研修会、講習会の開催

- ア トレーナー研修会の開催
事業廃止
- イ コーチングセミナー
事業運営体制の変更に伴い中止

公益3 スポーツ少年団事業

1 令和4年度埼玉県スポーツ少年団登録状況

(1) 団数	更新	1,430 団	新規	6 団	合計	1,436 団
(2) 指導者	更新	9,631 名	新規	421 名	合計	10,052 名
(3) 役員スタッフ	更新	3,048 名	新規	1,323 名	合計	4,371 名
(4) 団員	男子	29,573 名	女子	10,584 名	合計	40,157 名

2 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催

【事業内容】日々のスポーツ活動で学んだルールや技術、それらを習得する過程で得られるマナーやモラルを実践する場を作るとともに、併せて子ども達の指導にあたる者たちの資質の向上を図った。

ア 軟式野球

- ・第41回埼玉県スポーツ少年団夏季小学生軟式野球交流大会

【実施時期】令和4年5月29日(日)、6月19日(日)、
10月5日(日)、12日(日)

【実施会場】荒川総合運動公園 他

【参加団数】306 団

- ・第47回埼玉県スポーツ少年団小学生軟式野球交流大会

【実施時期】令和4年10月2日(日)、9日(日)、16日(日)、
11月3日(祝木)

【実施会場】埼玉県営大宮公園野球場 他

【参加団数】306 団

- ・第45回埼玉県スポーツ少年団中学生軟式野球交流大会

【実施時期】令和4年7月23日(土)、24(日)、30日(土)

【実施会場】川里中央公園野球場 他

【参加団数】17 団

- ・第18回埼玉県スポーツ少年団女子団員軟式野球交流大会

【実施時期】令和4年11月23日(祝木)、27日(日)

【実施会場】加須きずなスタジアム 他

【参加団数】12 団

イ サッカー

- ・第41回埼玉県サッカー少年団大会

【実施時期】令和5年1月15日(日)、22日(日)、2月5日(日)

【実施会場】埼玉スタジアム2002(第2、第3グラウンド)他

【参加団数】392 団

- ・第7回埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー大会

【実施時期】令和4年12月4日(日)、18日(日)

【実施会場】新座市陸上競技場 他

- 【参加団数】 392 団
- ウ バスケットボール
- ・ 第 41 回ミニバスケットボール交流大会
【実施時期】 令和 4 年 7 月 23 日(土)、24 日(日)
【実施会場】 越谷市立総合体育館
【参加団数】 271 団
 - ・ 第 23 回ジュニアリーダーバスケットボール交流大会
【実施時期】 令和 5 年 3 月 21 日(祝火)
【実施会場】 飯能市民体育館・狭山市民総合体育館
【参加団数】 58 団
- エ バレーボール
- ・ 第 41 回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会
【実施時期】 令和 4 年 6 月 25 日(日)、7 月 3 日(日)
【実施会場】 熊谷スポーツ文化公園体育館他
【参加団数】 118 団
 - ・ 第 17 回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会
新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
 - ・ 第 19 回埼玉県スポーツ少年団リーダー交流大会
新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
 - ・ 第 46 回埼玉県スポーツ少年団バレーボール交流大会兼全国大会予選
【実施期日】 令和 4 年 12 月 17 日(土)、25 日(日)
【実施会場】 北本スポーツセンター他
【参加団数】 118 団
- オ 剣 道
- ・ 第 46 回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会
【実施期日】 令和 4 年 8 月 28 日(日)
【実施会場】 戸田市スポーツセンター
【参加団数】 40 団
 - ・ 第 45 回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会
【実施期日】 令和 4 年 12 月 4 日(日)
【実施会場】 熊谷市立市民体育館
【参加団数】 42 団
- カ ソフトボール
- ・ 第 45 回ソフトボール中央大会
【実施期日】 令和 4 年 8 月 7 日(日)、11 日(祝木)
【実施会場】 北本市総合公園多目的広場 他
【参加団数】 25 団
- キ 空手道
- ・ 第 38 回埼玉県スポーツ少年団空手道交流大会
【実施期日】 令和 4 年 9 月 4 日(日)

- 【実施会場】埼玉県立武道館
【参加団数】52 団
- ク 柔 道
第 44 回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会
新型コロナウイルス感染症予防対策により中止
- ケ バドミントン
・第 40 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)
【実施期日】令和 4 年 12 月 4 日(日)
【実施会場】毎日興行アリーナ久喜
【参加団数】17 団
・第 28 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(個人戦)
【実施期日】令和 5 年 2 月 23 日(祝木)
【実施会場】蓮田市総合市民体育館
【参加団数】17 団
- コ ソフトテニス
・第 43 回埼玉県スポーツ少年団中学生ソフトテニス交流大会
【実施期日】令和 4 年 8 月 11 日(祝木)
【実施会場】熊谷さくら運動公園テニスコート
【参加団数】12 団
・第 43 回埼玉県スポーツ少年団小学生ソフトテニス交流大会
【実施期日】令和 4 年 8 月 21 日(日)
【実施会場】くまがやドーム
【参加団数】27 団
・第 9 回埼玉県スポーツ少年団小学生ソフトテニス交流大会団体戦
【実施期日】令和 5 年 2 月 19 日(日)
【実施会場】くまがやドーム
【参加団数】26 団
- サ 複 合
第 42 回埼玉県スポーツ少年団複合種目大会
【実施期日】令和 4 年 9 月 3 日(土)、4 日(日)
【実施会場】名栗元気プラザ
【参加団数】10 団
- シ 駅 伝
第 40 回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会
前日の積雪の影響により中止
- ス 体 操
第 12 回埼玉県スポーツ少年団体操競技交流大会
【実施期日】令和 5 年 2 月 18 日(土)
【実施会場】越谷市立総合体育館
【参加団数】10 団

(2) 東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

3 第49回日独スポーツ少年団同時交流事業

【事業内容】日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースリーグ間の、「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与するために実施した。

(1) 派遣事業

【派遣期間】令和4年7月31日(日)～8月17日(木)

【派遣場所】オンライン交流

【派遣人数】団員 2名

【費用】50,000円

(2) 受入事業

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

4 指導者養成・研修事業

(1) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

(県本部開催：5コース 市町村開催：15コース)

【事業内容】日本スポーツ協会指導者制度に基づき、単位団活動で指導に当たる指導者を養成した。(検定合格者は所定の手続きを行うことにより、公益財団法人日本スポーツ協会公認スタートコーチ(スポーツ少年団)が付与される。)

ア 県本部開催

【実施期日】令和4年8月7日(日)、9月4日(日)、10月22日(土)
11月27日(日)、令和5年1月22日(日)

【実施会場】スポーツ総合センター他

【参加人数】延べ237名

【受取参加料】1人5,500円

イ 市町村開催コース

【実施期日】令和4年4月1日～令和5年2月28日

【実施会場】26市町31コース

【参加人数】延べ1,232名

【受取参加料】1人5,500円

(2) スタートコーチインストラクター移行研修会

ア 日本スポーツ少年団開催への派遣

【事業内容】日本スポーツ協会指導者制度に基づく「スタートコーチ(スポーツ少年団)」養成講習会の講師を充実させるため、旧認定育成員等に参加を促し、講習会を開催する体制の充実を図った。

- 【実施期日】 研修会：令和4年10月8日（土）、9日（日）、23日（日）、
11月5日（土）、6日（日）、20日（日）
講習会：令和4年11月19日（土）、20日（日）
- 【実施会場】 研修会：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 他 全国7会場
講習会：TKP ガーデンシティ大阪梅田
- 【参加者】 研修会：15名
講習会：1名
- 【支払参加料】 研修会：一人2,200円（×参加者実数）
講習会：一人4,400円（×参加者実数）

イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業

【事業内容】 スポーツ少年団の牽引役を担う「旧認定育成員」並びに「スタートコーチインストラクター」が一堂に会し、今日的課題についての研究や・情報交換を通し、認定育成員の更なる資質向上と、スポーツ少年団の活動体制の充実を図るため実施した。

- 【実施期日】 令和4年12月3日（土）
- 【実施会場】 スポーツ総合センター
- 【参加者】 11名

(3) 登録指導者研修会【助成事業】

【事業目的】 日頃のスポーツ少年団活動において、子ども達の育成、指導に当たる登録指導者の資質の向上を図るとともに、情報交換を目的とする研修会の開催費を助成した。

- 【実施期日】 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 【実施会場】 4市町4コース
- 【参加者数】 延べ112名
- 【受取参加料】 原則、各会場とも無料（必要に応じて徴収可）
- 【支払補助金】 1コース30,000円
（事業規模40,000円以上、市町村負担10,000円以上）

(4) 母集団研修会【助成事業】

【事業内容】 埼玉県スポーツ少年団では、スポーツ少年団活動を支援、協力するため、1少年団に1育成母集団の結成を目指し、母集団（員）の中核的推進者を集めて育成研修事業の費用を助成した。

- 【実施時期】 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 【実施会場】 15市町15コース
- 【参加対象者】 延べ502名
- 【受取参加料】 原則、各会場とも無料（必要に応じて徴収可）
- 【支払補助金】 1コース30,000円
（事業規模40,000円以上、市町村負担10,000円以上）

(5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会

【事業内容】 県内の市町村スポーツ少年団種目別指導者の代表者が一堂に会し、今日的テーマの研修を行うとともに、種目別大会の運営方法に

ついて協議、情報交換をしてスポーツ少年団の健全な育成を図った。

【実施時期】令和5年1月29日(日)

【実施会場】さいたま市民会館おおみや(レイボックホール)小ホール

【参加者】65名

【受取参加料】無料

(6) 運動適性テストⅡ普及研修会

【事業内容】県内市町村本部を代表する指導者向けに運動適性テストⅡ普及のための研修会を実施した。

【実施時期】令和4年11月5日(土)

【実施会場】スポーツ総合センターアリーナ

【参加者】31名

【参加料】無料

(7) 研究大会等派遣

ア ジュニアスポーツフォーラム派遣

【事業内容】今後のジュニアスポーツ及び生涯スポーツの振興、ジュニア期のスポーツとその指導のあり方等についての研究を通して指導者個々の質的向上を図るとともに、ジュニアスポーツに対する望ましい指導体制を確立するために、現在ジュニアスポーツの指導に直接従事している登録指導者を対象に開催される研究大会に指導者を派遣した。

【実施時期】令和4年6月12日(日)

【実施会場】TKP 赤坂駅カンファレンスセンター(オンライン併用開催)

【参加者】11名

【支払参加料】1,100円(参加者自己負担)

イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣

【事業内容】関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質、指導力の向上を図り、指導活動の促進方法等について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するために開催される研究協議会に関係者を派遣し、今後の少年団活動に役立てることができた。

【実施時期】令和4年11月5日(土)、6(日)

【実施会場】ホテルニューイタヤ(栃木県)

【参加者】2名

【支払参加料】13,000円(1人)

※関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会は関東各都県輪番制(8年毎に開催)

5 リーダー養成・研修事業

(1) シニア・リーダースクール派遣

【事業内容】日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、ジュニア・リーダー修了者を対象に単位団及びリーダー会において模範となって活動

する団員を派遣した。

【開催期日】令和4年8月9日～12日

【開催会場】静岡県 国立中央青少年交流の家

【参加人数】1名

【支払参加料】16,500円(1人)

(2) ジュニア・リーダースクールの開講

ア ジュニア・リーダースクール(県本部開催)

【事業内容】日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てるとともに、資質の向上と団活動の活性化を図った。

【実施時期】令和4年8月19日(金)、21日(日)

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加者】33名

イ ジュニア・リーダースクール補助事業(助成(補助)事業)

【事業内容】日頃のスポーツ少年団活動をしている小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

【実施会場】3市町3コース

【参加人数】延べ49名

【受取参加料】原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

【支払補助金】30,000円

(事業規模40,000円以上、市町村負担10,000円以上)

(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

【事業内容】全国都道府県スポーツ少年団リーダーの相互研修及び情報交換を通じ、各都道府県リーダー会の充実、強化、さらには全国的ネットワークの構築を目指し、各都道府県スポーツ少年団リーダー代表による全国会議に関係者を派遣し、今後のスポーツ少年団活動に役立てることができた。

【実施時期】令和4年6月12日(土)、13日(日)

【実施会場】オンライン開催

【参加者】2名(リーダー1名、指導者1名)

(4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会開催

【事業内容】関東ブロック内スポーツ少年団リーダーの相互研修を通じ、各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進するため、各都県スポーツ少年団リーダー代表によるブロック内の研究大会に派遣した。

【実施期日】令和4年10月15日(土)～16日(日)

【実施会場】千葉県立水郷小見川 青少年自然の家(主管：千葉県)

【参加者】3名(リーダー2名、指導者1名)

(5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成(運営費補助)

【事業内容】埼玉県スポーツ少年団リーダー会は、各市町村で活動してい

るリーダーが持つ共通の課題などの情報交換や、よりよいリーダーになれるよう普段の活動を振り返り、今後の活動に活かす勉強会や、リーダー相互の親睦を深める交流交歓活動などを支援するため補助を行った。また、埼玉県スポーツ少年団大会やジュニアリーダースクールなど、各種事業への協力も行った。

【支払補助金】200,000円

6 地域交流補助事業

【事業内容】日頃、生活圏で行われているスポーツ少年団活動に、子ども達の成長とともに広がる地理的視野の拡大に合せ、他団体や他地域と交流活動をすることで、スポーツ少年団活動の活発化と地域交流の促進を図った。

【実施数】26市町30事業

【参加者数】12,364名

【支払補助金】50,000円

(事業規模100,000円程度、市町村負担50,000円以上)

7 国内交流大会派遣事業

(1) 全国スポーツ少年団大会

【事業内容】各都道府県代表の団員及び指導者の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動、文化活動、野外活動、交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図るため、本県少年団代表者を派遣した。

【実施期日】令和4年8月4日(木)～7日(日)

【実施会場】鹿児島県立南薩少年自然の家(鹿児島県)

【参加者】指導者1名、団員2名(埼玉県より)

【支払参加料】13,200円(1人)

(2) 関東ブロックスポーツ少年大会

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

【事業内容】軟式野球を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施される大会へ本県代表団を派遣する。

【実施期日】令和4年8月4日(木)～7日(日)

【実施会場】佐藤薬品スタジアム 他(奈良県)

【参加者】第41回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の勝者2チーム ※埼玉県から1チーム出場

【経費】支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

(4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会

【事業内容】 剣道を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県代表を派遣した。

【実施期日】 令和5年3月25日(土)～27日(月)

【実施会場】 謙信公武道館 (新潟県)

【参加者】 団体1チーム 個人(中学生)男女各1名

【経費】 受取参加料：無料 派遣費補助：5万円

(5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

【事業内容】 バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県の代表団を派遣した。

【実施期日】 令和5年3月24日(金)～27日(月)

【実施会場】 エコパアリーナ (静岡県)

【参加者】 女子1チーム

【経費】 受取参加料：無料 派遣費補助：5万円

(6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

【事業内容】 団員に競技の喜びを経験する機会を提供するとともに、関東地区間の団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることをねらいとして開催される大会へ本県の代表団を派遣した。

【実施期日】 令和4年7月17日(日)～9月19日(月)

【実施会場】 神奈川県

軟式野球：及川球場 7月17日(日)～18日(月)

バレーボール：県立スポーツセンターアリーナ1
7月30日(土)～31日(日)

バスケットボール：ひらつかサンライフアリーナ
7月30日(土)～31日(日)

バドミントン：県立スポーツセンターアリーナ2
7月30日(土)～31日(日)

空手道：シンコースポーツ寒川アリーナ
9月18日(日)～19日(月)

【実施種目】 軟式野球、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、空手道 5種目6団

※バスケットボールは、男女各1団

※バドミントン、空手道は県内選抜

【経費】 支払参加料：無料 派遣費補助：5万円 (1団)

8 埼玉県スポーツ少年団表彰

(1) 埼玉県スポーツ少年団表彰

【事業内容】埼玉県及び県内市町村においてスポーツ少年団の育成に尽力している者で、登録指導者として10年以上にわたり活動し、スポーツ少年団の育成に特に顕著な功績があり、今後も引き続き活動が期待できる者を表彰し、指導者の活動意欲を高揚するとともに埼玉県スポーツ少年団の充実、発展を図った。

【受賞者】49市町89名

南部：9市 30名 西部：19市町 25名

北部：9市町 13名 東部：12市町 21名

(2) 埼玉県スポーツ少年団創立60周年記念表彰

【事業内容】創立60周年を記念してスポーツ少年団で活躍してきた登録者を表彰し、今後より一層の活動を促し、スポーツ少年団発展に寄与した。

【実施期日】令和5年2月19日(土)

【実施会場】ウエスタ川越

【受賞者】57名

※創立60周年記念式典も併せて実施

9 日本スポーツ少年団顕彰

【受賞者】団体(本部) 5市町 指導者 6名

10 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たち」の発刊

【事業内容】県スポーツ少年団で行った事業内容や調査結果等を集約し、日頃のスポーツ活動等への理解を深め、今後の活動に役立てるために情報提供を行った。

【発刊時期】7月、12月、3月

【配布対象】市町村63本部及び1,430団(令和4年度登録団数)

公益4 スポーツ総合センター運営事業

1 スポーツ総合センターの管理、運営

(1) 施設利用に係る受付業務

体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行った。

(2) 施設設備の維持管理

建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行った。

(3) トレーニング場利用者講習会（月2回）

トレーニング場を個人利用するための講習会を行った。

参考 施設利用者数

施設	利用者数	施設	利用者数
体育館	40,271名	講堂研修室	40,525名
多目的室	15,068名	その他	2,762名
体育実習室	7,163名	宿泊施設	5,278名
トレーニング場	10,199名	計	124,333名
テニスコート	3,067名	対前年比	+50,735名

収益 1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営事業

大宮公園スポーツランド管理運営を実施した。

月	利用者数	本会収益 (15%)
4月	5,688名	757,485円
5月	5,830名	
6月	2,443名	
7月	1,512名	746,280円
8月	1,946名	
9月	3,045名	
10月	5,365名	402,840円
11月	4,541名	
12月	2,982名	
1月	5,590名	867,135円
2月	3,793名	
3月	6,512名	
合計	49,247名	2,773,740円

収益 2 アイスアリーナ管理運営事業

本会が事業主体となって、さいたま水上公園内にアイスアリーナを整備し、運営を付した施設の貸出しを行うこと、公園の機能の増進に資することにより、氷上スポーツの普及、振興と競技力の向上を図った。

(単位：人)

入場者 ＼ 月	一般	校外	団体	定期	教室	クラブ	観覧等	貸切	合計
4月	3,412	0	886	388	921	2,953	355	3,070	11,985
5月	2,842	0	702	242	932	2,508	243	4,289	11,758
6月	3,050	0	679	229	930	2,589	272	3,457	11,206
7月	3,113	74	843	211	841	2,992	332	3,393	11,799
8月	3,278	0	937	229	910	3,122	413	2,624	11,513
9月	2,779	0	694	209	948	2,490	256	3,721	11,097
10月	2,449	252	555	211	1,009	2,724	227	4,391	11,818
11月	3,919	470	757	236	989	2,358	237	3,422	12,388
12月	3,808	128	1,719	254	877	2,936	339	2,931	12,992
1月	5,436	30	2,775	270	919	2,583	668	3,136	15,817
2月	3,909	236	1,901	337	952	2,293	302	2,583	12,513
3月	3,497	197	1,423	348	1,050	2,960	332	3,321	13,128
合計	41,492	1,387	13,871	3,164	11,278	32,508	3,976	40,338	148,014

法人 県スポーツ協会運営事業

【諸会議】

1 評議員会

定時	令和4年5月30日(月)	THE MARK GRAND HOTEL
臨時	令和5年3月27日(月)	THE MARK GRAND HOTEL

2 理事会

定例第1回	令和4年5月11日(水)	スポーツ総合センター・オンライン
臨時	令和4年5月30日(月)	THE MARK GRAND HOTEL
定例第2回	令和4年9月1日(木)	スポーツ総合センター・オンライン
定例第3回	令和4年12月14日(水)	スポーツ総合センター・オンライン
定例第4回	令和5年3月9日(木)	スポーツ総合センター・オンライン

3 加盟団体協議会

第1回	令和4年5月13日(金)	スポーツ総合センター
第2回	令和5年3月10日(金)	スポーツ総合センター ・オンライン

4 市町村連絡会議 (I-3に掲載)

5 専門委員会

(1) 総務委員会

第1回	令和4年5月6日(金)	スポーツ総合センター
第2回	令和4年8月25日(木)	スポーツ総合センター
第3回	令和4年12月5日(月)	スポーツ総合センター
第4回	令和5年3月2日(木)	スポーツ総合センター

(2) 選手強化対策委員会

ア 強化対策委員会

第1回	令和4年4月27日(水)	スポーツ総合センター
第2回	令和4年9月9日(金)	スポーツ総合センター
第3回	令和5年1月16日(月)	スポーツ総合センター

イ 常任委員会

期日	令和4年12月16日(金)	スポーツ総合センター
----	---------------	------------

ウ 競技力向上事業関係諸会議

- ・ 第1回選手強化対策委員会及び競技団体強化・経理担当者合同会議
令和4年4月27日(水) スポーツ総合センター
- ・ 選手強化対策特別委員会
令和4年6月7日(火) 県民健康センター

- ・ 第75回国民体育大会埼玉県選手団監督選手選考会議・監督会議
令和4年9月9日(金) スポーツ総合センター
- ・ 競技別強化対策会議
令和4年11月28日(月)～11月30日(水) スポーツ総合センター
- ・ ジュニア強化対策合同会議
令和4年12月7日(水) スポーツ総合センター
- ・ 彩の国アスリート育成推進会議
 - 第1回 令和4年7月12日(火) オンラインによる審議
 - 第2回 令和4年10月3日(月) 書面による審議
 - 第3回 令和4年12月27日(水) 書面による審議
- ・ 選手強化等中期計画策定作業部会
 - 第1回 令和4年7月21日(木) スポーツ総合センター
・ オンライン併用
 - 第2回 令和4年8月8日(月) 書面による審議
 - 第3回 令和4年10月26日(水) スポーツ総合センター
・ オンライン併用
 - 第4回 第3回の意見を踏まえて最終案を書面審議

(3) 普及委員会

- 第1回 令和4年8月22日(月) スポーツ総合センター

(4) 広報委員会

- 第1回 令和5年1月20日(金) スポーツ総合センター

(5) スポーツ科学委員会

- 第1回 令和4年8月22日(月) オンライン開催
- 第2回 令和4年12月13日(火) オンライン開催

6 諮問委員会

(1) 倫理委員会

- 第1回 令和5年3月17日(金) スポーツ総合センター

(2) 顕彰委員会

- 第1回 令和4年5月6日(金) スポーツ総合センター
- 第2回 令和4年12月14日(水) スポーツ総合センター
- 第3回 令和5年1月17日(火) スポーツ総合センター

7 その他

(1) スポーツ少年団

ア 本部員会

- 第1回 令和4年5月21日(土) ウェスタ川越
- 第2回 令和4年8月5日(金) スポーツ総合センター
(オンライン併用)
- 第3回 令和4年11月11日(金) オンライン開催
- 第4回 令和5年2月19日(日) ウェスタ川越

- イ 代議員会 令和4年5月21日(土) ウェスタ川越

ウ ブロック本部長会議

東部：令和4年11月19日(土) 三郷市文化会館

西部：令和4年11月26日(土) 越生町役場

南部：令和4年11月12日(土) 鴻巣市市民活動センター

北部：令和4年11月12日(土) 熊谷市商工会議所

エ スポーツ少年団専門委員会等(オンライン併用)

・指導者・リーダー育成委員会 10回

・企画広報委員会 12回

・活動交流委員会 11回

・指導者協議会評議員会 1回

・指導者協議会運営委員会 9回

・倫理委員会 1回

・種目別担当者会議 3回

・ジュニア・リーダースクール 1回

オ 市町村スポーツ少年団事務担当者会議

令和5年4月に実施

(2) 埼玉県スポーツ指導者協議会

理事会

第1回 令和4年7月10日(金)

第2回 令和5年3月29日(水)